　実施要領（５０分）

１　開始～ミニ講座（１８分）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間（分） | 内容 | 資料 |
| 00：00  （３分） | （１）自己紹介  ・選管の自己紹介  ・選管事務の紹介  例）私たち、○○市選挙管理委員会は、主に公職選挙法に基づき、選挙の時には投票所の設置や開票などの事務を行っています。また、皆さんがより積極的に投票に行ってもらえるよう、投票率の向上のための啓発活動を行っています。本日、こちらの講座も啓発活動の一部として行っています。 | 資料なし |
| 00:00  (15分) | （２）ミニ講座 | ミニ講座スライド |

２　模擬選挙（３２分）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 00：00  （ 7分）  （ 5分） | （３）模擬選挙  ・模擬選挙の説明  模擬選挙の流れ（投票の仕方→選挙公報→演説→投票→開票→結果発表）を説明する。本物の投票用紙や投票箱を準備したので、投票の雰囲気を味わってもらいたい。  ・投票説明（投票用紙にはまだ何も書かないことを配りながら言う）  投票用紙を配布し、投票用紙の仕組みについて説明する（受付を設ける場合は投票用紙は受付で配布）。  投票の仕方を説明する。（投票管理者等も一緒に）  無効票の説明をする。（他事記載など）  ・選挙公報の説明  選挙公報は選挙の際に候補者の考え等を知らせるために選挙管理委員会が発行するものである。遅くとも投票日の２日前までに新聞折り込みなどの方法で各家庭に配布されることになっている。また、市役所などでも配布される。  ・候補者演説  　演説を聞いて誰に投票するか考えてもらう。  ・投票  投票用紙のみを投票記載台に持っていき記入する。  氏名掲示にある名前以外を記入しないこと。  一人目が投票箱の中身を確認できる旨の説明。  投票の秘密を保つために、記載台手前の線で待ってもらう。  ・開票  開票作業を行う。  手作業の開票作業が終わったあとに、計数機を実際に動かしてみて、実際には、機械も使って開票作業を行っていると説明する。  無効票の説明をする。  ・開票結果発表  各候補者の得票数を発表する。  ・当選者よりひとこと  ・まとめ、講評（ふり返り）  実際の選挙も、今日体験してもらった模擬選挙と同じような仕組みで、行われている。  ３人の候補者のうち、誰にするか、悩んだ人もいたのではないか思う。本当の選挙では、誰に投票したかを人前で聞くようなことはないが、今日は勉強なので、誰に投票したかとその理由について聞いてみたいと思う。（挙手を求める）  【当選者に投票した生徒１人に候補者を選んだ理由を発表してもらう】  【次に他の候補者に投票した生徒にも同様に理由を発表してもらう】  このように一人ひとり考え方は違うが、共通するのは誰しも投票する際、立候補した人の考えや主張に耳を傾け、この人であれば社会や地域がよりよくなると思う人に投票したのではないか。その選ぶ基準はそれぞれの人の考え方や立場によって異なってくる。大事なのは自分なりの基準を持つこと。選挙とは単なる人気投票ではない。社会や地域と深く結びついている。そのため、基準を持つためには日頃から政治に関わっていくことが大事である。  政治に関わるとは、政治家になったり、政治について勉強するということだけではない。日頃から国や社会や地域の一員として、自分が暮らしている地域の在り方や日本・世界の現状や未来について調べ、身近な人や友達と考え、話し合い、社会参画につなげていくことも政治に関わることと言えるのではないか。  ・保護者の皆さんも、ぜひお子さんと一緒に選挙に行き、選挙や政治参加の大切さについて、家族で話してみてほしい。  ・質疑、アンケート | 投票の仕方スライド  選挙公報  氏名掲示 |
| （ 5分）  （5分）  （10分） |  |

※時間に余裕がある場合、選挙クイズスライドを利用して選挙クイズを行う。